

大桑 第138号

5月号

まさたか



市議員3期目
よろしくお願ひします！

さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

振り込め詐欺について

大桑新聞で繰り返しお知らせをしている振り込め詐欺についてですが、今年も多くの被害が出ており、4月も1件で1,000万円を超えるような被害がでております。是非、ご家族やご友人と振り込め詐欺について話をして頂ければと思います。

次に、平成26年3月末の栄区の振り込め詐欺の被害状況ですが、7件・約635万円となっております。ちなみに、神奈川県内の被害は、353件・約8億4,089万円となっており、件数としては前年比で200件増加しているようです。

最後に、これも繰り返しになりますが、振り込め詐欺は、実際に栄区内でおきています。他人事とは思わず、たとえば、電話は留守番電話にしておき、知らない電話番号の場合は、電話に出ないようにするなどの対策をとって頂ければと思います。また、振り込め詐欺の被害にあった方の多くは、振り込め詐欺を知っていました。それでも被害が増えております。是非とも、いつもと違う電話がかかってきた時は、ご家族や警察などに、すぐに相談して頂ければと思います。

大桑新聞

プロフィール

第138号(5月号)

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okawa.net/>

E-mail : m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

3月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

平成25年度3月現在の政務活動費累計残高は**18,646円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	43,720円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	7,170円
広報費	414,375円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	82,174円
会議費	0円	事務費	22,770円

3月の支出合計は

570,209円です。

近況報告

平成26年第2回市会定例会ですが、平成26年5月13日(火)から平成26年6月3日(火)でおこなわれる予定になっております。この定例会では新たに所属する委員会などが決まる予定です。この件については、改めて、お知らせします。

次に、私の事務所についてですが、常時、人がいる体制をとれておりませんので、事務所への連絡は留守番電話にメッセージを残して頂くか、FAXをお願いします。

鍛冶ヶ谷市民の森と上郷開発について

この件については、これまでの大桑新聞で何度かお知らせしておりますが、今回は、鍛冶ヶ谷市民の森と上郷開発についての違いについて書かせて頂きます。

その前提として、改めて言うまでもありませんが、私を含めた多くの方は、緑を大切にしなければいけないと考えていると思いますし、できれば緑を壊すような開発はしない方が良く考えていると思います。

そのような観点から、鍛冶ヶ谷市民の森は、緑地の周辺にお住まいの方と横浜市と土地の所有者の3者が、幸運に恵まれたということもあり、うまく連携することができたと感じています。その結果、横浜市がこの土地を買い取ることができ、市民の森にすることができました。今回の鍛冶ヶ谷市民の森は、とても良い例だと思います。

一方、上郷開発はこれまでの経過の中で、開発についての反対運動などもあり、緑地の周辺にお住まいの方と横浜市と土地の所有者の間で、建設的な話ができておらず、開発にかんする住民説明会でも、緑地の周辺にお住まいの方と土地の所有者の意見が対立する場面もありました。また、これは繰り返しになりますが、土地を所有している方が開発を望んでいる以上、法律の範囲内で開発は認められます。その上で、貴重な緑をなるべく多く残したり、ホテルなどを守ると言うことは言うまでもありません。

最後に、市民の森について少し書かせて頂きます。市民の森は、公園などとは違い、樹林地本来の形態を活かし、自然に近い環境を多くの市民の皆さんに楽しんで頂くため、必要最低限の整備しかしておりません。そのため、必ずしも、誰もが利用しやすい施設(バリアフリー対応)にはなっておりません。ご理解頂けるようお願いいたします。

新市庁舎について

これまで大桑新聞で、市庁舎の建替えについて、横浜市は「現在の市庁舎は建設から50年以上がたっていること」や、「横浜市が市庁舎周辺で民間から借りているオフィス(約20か所)の賃料が年間20億円を超えていること」などから、新市庁舎を建設した方が良く判断をし、場所などの選定をしているとお伝えしてきました。

そのような中、平成26年3月に、横浜市は「新市庁舎整備基本計画」を策定し、新市庁舎を建設する場所を北仲通南地区(桜木町駅近く)と決めるなどしましたので、今回、ここで改めて、お知らせします。

今後は、基本計画に対し、市民の皆さんからのご意見や、学識経験者(公共事業評価委員会)などからご意見を頂いた上で、新市庁舎整備が進んでいきます。



大桑新聞ではみなさまとともに、
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp